

2月 18(土) 貨幣から古代社会を探る 19(日) 講師:三上喜孝さん(山形大学助教授)

1999年に奈良県飛鳥池遺跡で出土した富本銭とその鋳造遺物は、日本の貨幣史を塗り替える発見として大きく取りあげられました。飯田市でも富本銭が発見され、大きな話題を呼んだことは記憶に新しいところです。古代の人々にとって、貨幣とはどのような意味を持つものだったのでしょうか。この講座では、日本における貨幣のはじまりや、物品貨幣を含む古代貨幣全体を検討することを通じて、日本の古代社会の特質を考えてみたいと思います。



12月の鈴木博之さんを迎えてのアカデミア

3月 18(土) 近代日本の政軍関係 19(日) 講師:加藤陽子さん(東京大学助教授)

第一次大戦の衝撃や、中国との長期にわたる実質的戦争の遂行という現実的要請によって、戦前期の日本の政軍関係はいかに変容したのか。また、その変容はその後の戦争指導をいかに規定していったのか。体制変革という点で、戦争が革命を代替してきた戦前期の日本にとって、政軍関係は重要ですが、冷戦体制の崩壊後、湾岸戦争、イラク戦争を経験した世界にとっても、今なお本問題は十分検討に値します。軍による政治介入の問題は、今なお偏在する問題であるからです。

- 時間
1日目(土曜日) 13:30~17:00
2日目(日曜日) 10:00~14:30
※90分の講義を4回、2日間にわたって行います。
- 会場
飯田市歴史研究所(飯田市上郷支所庁舎) 3階 講義室
- 募集人員 各講座30人
- 受講料 資料代として500円(2日間分)
※2日目の昼休みには、講師を囲んでの昼食交流会を行います。(会費1000円)
- お申込方法 電話、ファクシミリまたはEメールで、飯田市歴史研究所へお申し込みください。
※ファクシミリ、Eメールでのお申し込みは住所・氏名・電話番号を明記してください。

2月の月例研究会 月に1度研究所員が研究内容を報告し、参加者が自由な意見交換をする研究会です。事前の申し込みは不要ですので、気軽にご参加ください。

- 報告テーマ 「昭和初期の飯田市の商工業者層」 『長野県商工名鑑・昭和12年』を史料に、当時の飯田町の商工業者層の業種構成と階層、空間構成を考察します。
- 報告者 田中雅孝調査研究員
- 日時 2月25日(土) 午後2時~4時
- 場所 歴史研究所研修室(上郷支所庁舎2階)
- ※3月の月例研究会はお休みです

歴研ゼミだより 参加者のみなさんと一緒に歴史の研究を行い、研究方法を学んでいただくための講座を開いています。「教える」ではなく「ともに学ぶ」ことを目指します。

12月・1月の内容

近世史ゼミ

- 12月13日 「郡奉行所 大洪水始末記録」
- 1月10日 「被官の勤め」
- 1月24日 「名主役などについての村定め」

- テーマ 近世下伊那の民衆生活史
- 対象 一般(どなたでも)
- 開催日 隔週火曜日
- 時間 午後7時~8時40分
- 担当 多和田雅保(研究員)

近現代史ゼミ

- 12月8日 『聞き書き・飯田町の暮らしⅡ』編集作業
- 12月22日 同上
- 1月12日 同上
- 1月26日 文献講読・中村政則『労働者と農民』

- テーマ 地域社会史入門~飯田町の記憶を探る
- 対象 一般(どなたでも)
- 開催日 隔週木曜日
- 時間 午後7時~8時40分
- 担当 田中雅孝(調査研究員)

現代史ゼミ
(英語文献講読)

- 12月7日 Video "WALMART: the high cost of low price" ビデオ「ウォルマート-安い値段の高いツケ」
- 12月21日 A critical alternative もうひとつの選択肢
- 1月11日 Video "No Logo: Brands Globalization Resistance" ビデオ「ブランドなんか、いらない」
- 1月25日 Gendering international politics ジェンダー化する国際政治

- テーマ 地域社会とグローバリゼーション
- 対象 高校生以上
- 開催日 隔週水曜日
- 時間 午後7時~8時30分
- 担当 鬼塚博(研究員)

★各ゼミとも歴史研究所研修室で行っています。お気軽にご参加ください。今後の日程については、最終頁の「2月・3月のスケジュール」をご覧ください。

- ◆日 時 3月18日(土) 午前9時～正午
- ◆場 所 歴史研究所(飯田市上郷支所庁舎) 3階 講義室

助成申請研究

平成17年度の申請研究課題

- 大日本実行会の成立
- 伊賀良の石造文化財の資料調査及びまとめと「伊賀良の民俗2」としての刊行
- 飯田・下伊那地方における佐倉様信仰のイデオロギー解釈とその歴史的背景についての考察
- その著「木曾のお伝馬」を通して見る、日下部新一の近世下伊那地域農民に注ぐ眼差しの意義について
- 飯田・下伊那地方における大正時代の青年運動から今日までの「読書会」の歴史を調べる



昨年度の発表会の様子

※当日発表を行わない研究もあります。詳細は事前にお問い合わせください。
■事前の申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

報告 世界史キャラバン in飯田 「第一次世界大戦前後の世界」

世界史研究所(東京都渋谷区)が毎年各地で行っている世界史キャラバンを、12月3日(土)、飯田市で開催しました。当日は内外の研究者や市民のみなさん約30名にご参加いただき、第一次世界大戦前後の

世界諸地域の政治や経済、文化がどのように連動していたかを考えました。活発に意見交換が行われ、飯田・下伊那地域の歴史を世界史に位置づけることの意味を考えるよい機会となりました。



【内 容】

- 第1部 南塚信吾(世界史研究所所長・法政大教授)
「3人の軌跡から見る大戦前後の世界史：ジョン・リード、(アラビアの)ロレンス、牧野伸顕」
- 第2部 田中一生(世界史研究所顧問・創価大講師)
「嵐を呼ぶバルカン世界」
- 第3部 趙景達(千葉大教授)
「道義の時代と民族の自決—第一次大戦前後の朝鮮をめぐる」
- 第4部 木村英明(世界史研究所研究員・早稲田大講師)
「危機の文化～欧州アヴァンギャルドと日本の新興芸術」
- 第5部 鬼塚博(飯田市歴史研究所研究員)
「日露戦後飯田下伊那の地域間の関係—中心都市と周辺」
- 第6部 コメント：小川幸司(松川高校教諭)

AAS ニューイングランド支部会参加記

於：2005年11月5日

鬼塚 博(研究員)

AAS (Association for Asian Studies) は英語圏最大のアジア研究の学会で、毎年春の全体大会のほか、日本・太平洋地域を含む9つの支部で学会が開かれます。ニューイングランド支部は大学の数が多い地域のため、大きな支部の一つです。

今回の支部会は、ボストン郊外のベントリーカレッジで開催され、私はパネル "Perspectives on Japanese History" (日本史の諸論点) において、3人の報告者とともに報告しました。報告題目は "The Japanese Agricultural Productivity Growth and the Russo-Japanese War" (日本の農業生産力の上昇と日露戦争) でした。

パネルのチェアを務めたナイアガラ大学のロバート・ケインは、"Towards a Taisho Restoration: Competing Visions of the Bakumatsu Era during the Taisho Political Crisis, 1912-1913" (大正維新へ：1912-3年大正政変時幕末期の競合する見方) を報告し、大正政変時の「立ち帰られるべき明治維新」という言説を分析し、文化史的アプローチから内発的な力の影響力を重視する見方を出していました。時代はややズレますが、私の経済史的アプローチで日露戦争を契機として農業生産力が向上するという、外発的な力を重視する方法とは対照的でした。学会全体では、中国関係のパネルが多く(学会のコーディネーターが中国出身だったこともあります)、『ジャパン・アズ・ナンバーワン』のエズラ・ヴォーゲルが中国関係のパネルに参加していたのも印象的でした。

『古島史学の現在』 発刊



歴史研究所では、『古島敏雄著作集』の復刊に取り組み、好評の内に販売を行っています。この著作集の各旧巻に添付されていた『月報』を再録し、更に現在の歴史学者13人からの新原稿を加えて、1冊の本にまとめたのが、この『古島史学の現在』です。『古島敏雄著作集』に付随するもので、著作集購入者には特典として贈呈させていただいていますが、希望される方には、販売いたします。

古島敏雄の人となりを感じさせる、読み応えのある図書に仕上がりました。ぜひ、ご覧ください。

- 『古島史学の現在』 飯田市歴史研究所 編
- 仕様 A5版 並製本 214頁
- 定価 800円

※一般の書店での販売はいたしません。歴史研究所の窓口のみでの販売となります。遠隔地で購入を希望される場合は、お問い合わせ下さい。

歴研日誌 12月・1月

12月

- 1～13日 江戸町古谷文一氏所蔵文書現状記録調査
- 3日 世界史キャラバンin飯田「第一次世界大戦前後の世界」を開催
- 5日 研究部会議（於東京）
- 6日 徳川林政史研究所千村平右衛門関係史料調査
- 7日 現代史ゼミ
- 7日～松尾森本信正氏所蔵文書現状記録調査
- 8日 座光寺史料調査会・近現代史ゼミ
- 10日
 - ・上郷福沢准一氏所蔵文書借入調査
 - ・千葉県松戸市中井恵子氏所蔵野原家文書概要調査
- 11日 第20回「モーニングウォーク」ガイド(多和田雅研究員)
- 12日 近世史ゼミ
- 14日
 - ・高森町信陽館事前調査(建造物)
 - ・「飯田観光ボランティアガイドの会」で歴史的建造物調査について説明
- 17日
 - ・瀧澤家文書返却
 - ・月例研究会「明治中期の村会議事一座光寺村の記録をよむ」(多和田真調査研究員)

- 20日
 - ・旧飯田町絵図史料所在調査
 - ・『古島史学の現在』刊行

- 21日 現代史ゼミ
- 22日 近現代史ゼミ

1月

- 6日 三穂・山本支所書庫訪問
- 6～7日 高森町中村家文書調査に参加
- 10日 近世史ゼミ
- 11日 現代史ゼミ
- 12日 座光寺史料調査会・近現代史ゼミ
- 14日 月例研究会「狂犬病と村人たち一元文二年下伊那への流入とその情報」(前澤調査研究員)
- 17日 松尾田中久氏聞き取り調査
- 18日 美術博物館から「平沢文書」を移管
- 19日 座光寺支所文書調査
- 24日 上郷宮内生氏聞き取り調査・近世史ゼミ
- 25日 現代史ゼミ
- 26日
 - ・松尾田中久氏聞き取り調査
 - ・座光寺史料調査会
 - ・近現代史ゼミ
- 28・29日 飯田アカデミア 2005「戦後農地改革と古島史学」(シリーズ：古島敏雄の人と学問②)を開催。講師は岩本純明さん(顧問研究員・東京大学教授)

2月・3月のスケジュール

2006年 2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	近	英	現	10	11
12	13	14	15	16	17	あ
あ	19	近	英	現	24	月
26	27	28				

2006年 3月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	近	英	現	10	11
12	13	14	15	16	17	助あ
あ	19	20	21	英	現	25
26	27	28	29	30	31	

- 開所日 休所日
- 開所時間 午前9時～午後5時
- 休所日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)
- あ…アカデミア
- 月…月例研究会
- 近…近世史ゼミ
- 現…近現代史ゼミ
- 英…英語でよむ現代史ゼミ
- 助…助成研究発表会

